

財務状況の分析

区 分	内 容	
財務上の特徴	<p>昭和43年に工事を着工して以来、年次を追って下水道工事を進め、平成17年度をもって計画区域の工事を終了しました。しかし、今後も下水道工事のために起こした起債の元利償還金や老朽化した施設の維持管理など多額の費用が必要であります。平成18年度の一般会計からの繰入金は50,215千円で平成14年度に比べ12,186千円の減になっていますが依然、一般会計からの繰入金の比重は高く、経営補助を受けている状況にあります。</p>	
経営課題	課 題	料金水準の適正化
	<p>平成12年4月に使用料を70円から90円に料金改定を行い、現在に至っています。平成17年度の当町の一般家庭用使用料(20㎡)は1,890円で類似団体平均2,145円と比べると低額の状況であります。このような状況を解消し、一般会計からの繰入金を減額する上でも平成20年度に料金改定を行いたい。</p>	
	課 題	維持管理コストの削減
	<p>平成17年度の処理人口一人あたりの維持管理費は20,371円で、類似団体平均21,046円に比べ低い水準にありますが、人件費の削減をはじめ、より一層、維持管理コストの削減に努めます。</p>	
	課 題	
	課 題	
留意事項		

注1 「財務上の特徴」欄は、事業環境や地域特性等を踏まえて記載すること。また、経営指標等について経年推移や類似団体との水準比較などを行い、各自工夫の上説明すること。

2 「経営課題」欄は、料金水準の適正化、資産の有効活用、給与水準・定員管理の適正合理化、維持管理費等サービス供給コストの節減合理化、資本投下の抑制、民間的経営手法等の導入等、団体が認識する経営上の課題について、優先度の高いものから順に記載する。また、経営課題と認識する理由を類似団体等との比較を交えながら具体的に説明すること。

3 「留意事項」欄は、「経営課題」で取り上げた項目の他に、経営に当たって補足すべき事項を記載すること。

4 必要に応じて行を追加して記入すること。